

【vol.23】ずっと同じトニックで行こう。

こんにちは、大沼です。

ここ2回の講座で、7つのポジションを覚えるトレーニングを紹介したわけですが、ここでもう一丁、スケールトレーニングの方法を学んでおきましょう。

今までは、Cメジャースケールの各構成音をトニックに、指板上でポジションを移しながら練習していました。

今回やるのは、ずっと同じトニックから、各スケールポジションを練習する、といったトレーニング法です。

要するに、例えばトニックをCに設定するならば、

- Cアイオニアン(メジャースケール)
- Cドリアン
- Cフリジアン
- Cリディアン
- Cミクソリディアン
- Cエオリアン(マイナースケール)
- Cロクリアン

と、ずっとトニックに設定したC音を基準にスケールを弾きます。

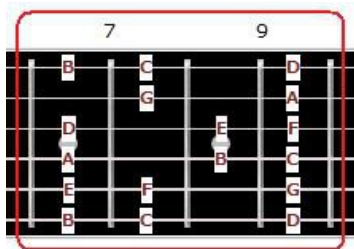
前2回でやっていたことは、指板全体の把握の要素が強かったのですが、この練習法では、同じトニックから始めることにより、各種スケールの構成の違いが見やすくなります。

スケール練習には様々な種類がありますが、それぞれの練習に特性と意味があり、多面的に理解するためにはいくつかの種類をこなす必要があります。

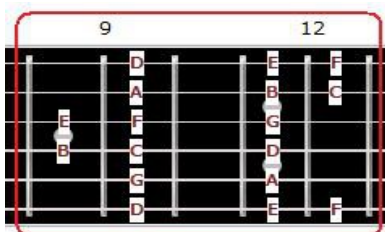
とまあ、言葉だけで説明されてもわかりにくいと思うので、早速、実際のトレーニングの方に行きましょう。

まずは、前回までに覚えた7ポジションを確認します。

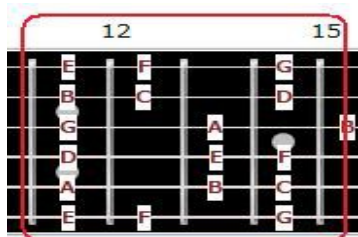
1、C アイオニアン



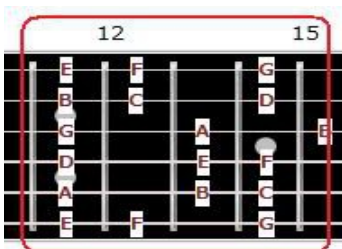
2、D ドリアン



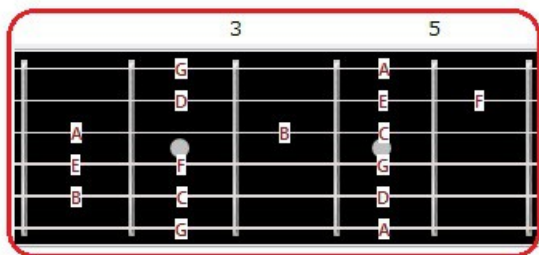
3、E フリジアン



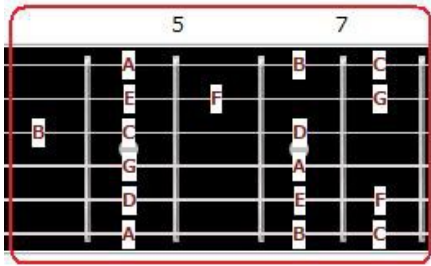
4、F リディアン



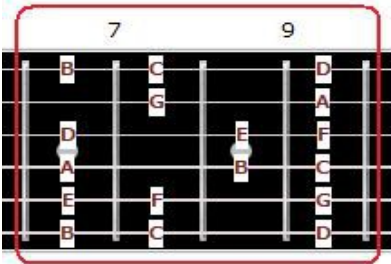
5、G ミクソリディアン



6、A エオリアン



7、B ロクリアン



と、以上が、チャーチモードの7ポジションでした。

今回のスケールトレーニングでは、前回まででは各ポジションごとにずらしていたトニックを、全て同じ音に設定して弾き始める、と、そういうことです。

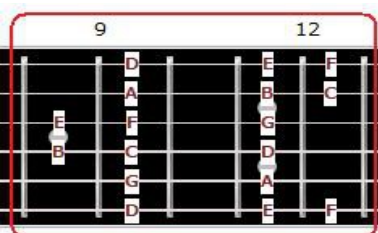
では実際の練習ですが、設定するトニックはなんでも良いんですが、今回はわかりやすくC音にしましょう。

なので、Cアイオニアンポジションはそのままですね。
ここは今までどおりCアイオニアンポジションを弾いてください。

次のドリアンスケールのポジションから変わっていきます。

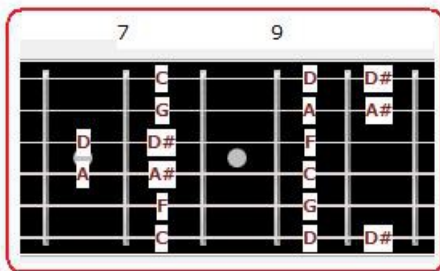
まずは、Dドリアンのポジション(形)をCドリアンのポジションまでずらしてみましよう。
(トニックをD→Cに変える)

※Dドリアン



↓↓

※Cドリアン



見ての通り、ポジションの形はまったくそのまま、
トニックを D→C へと変えます。

と、ここまで解説すれば、これまで講座を受けてきたあなたなら、
残りのスケールもどう練習したら良いのかがわかると思います。

基本的にトレーニングとしては、7つのスケールポジション全てを、

Cアイオニアン

↓

Cドリアン

↓

Cフリジアン

↓

Cリディアン

↓

Cミクソリディアン

↓

Cエオリアン

↓

C ロクリアン

と、ぶっ続けで弾きとおして1セットとなります。

ですが、全てのポジションを暗記して、そらで弾けるようでないと、通して弾くのは無理だと思うので、最初はそれぞれ1つずつでも構いません。

でも、最終的には7ポジションを通して弾けるレベルを目指してくださいね。

そしてその次のステップとして、トニックをC音以外に設定して同じ練習をする、という事にもチャレンジしてみてください。

これは要するに、色んなkeyに対応できるようになろう、というものなので、Cトニックでの練習に慣れてきたらやってみましょう。

B \flat でもF#でも、Gでもなんでも、トニックはどの音にしてもOKです。

この場合、どこをトニックにするかによって、指板上でのポジションの位置が変わりますね。

そうすると、フレット間隔が広くなったり狭くなったり、視覚的に、ネック上のポジションマークのとの位置関係が変わって、パッとスケールの形が浮かばなくなったりします。

なので色々なトニックで試してみてください。

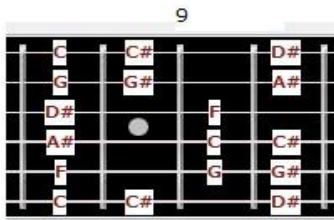
ポジションの形は同じなのに、指板上での位置が変わると、覚えているはずのポジションが見えなくなったりしますので。

では最後に、Cトニックでの残りのポジション図を載せて、今回は終わりたいと思います。

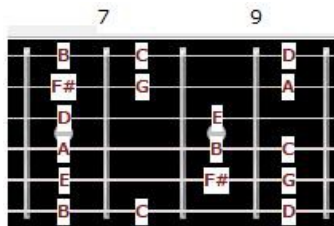
ありがとうございました。

大沼

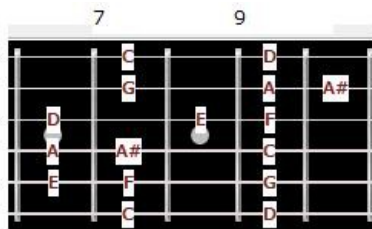
Cフリジアン



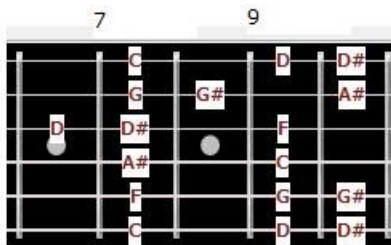
Cリディアン



Cミクソリディアン



Cエオリアン



Cロクリアン

